

2005年9月20日

藤沢市長 山本捷雄 様

藤沢市川名緑地の保全について（要望）

NPO 法人 神奈川県自然保護協会
理事長 新堀豊彦

藤沢市川名緑地は、JR 藤沢駅から徒歩で10分に位置しながら、かながわトラストみどり財団や市の買い取りによって大きく残され、今や都市内緑地として貴重な存在となっています。

しかしこの地も、農林業の衰退などで管理放棄が目立ち、又最近では相続問題で開発業者に売られる所も目立ち始め、このため貴重な緑地を虫食いの様に失う恐れが高まっております。

特に川名字清水地区に残された谷戸部は川名緑地の玄関口であり、この部分の開発抑止は緑地存続の鍵となります。特に同地区ダイヤパレス藤沢新林公園前を通る市道の南側、風致地区全体を包括的に保全することが肝要です。早急かつ緊急に保全策を取られることを強く要望します。

1992年の地球サミット以来、地球温暖化防止や、生物多様性保全を図ることが人間生存の基盤確保のために重要であるとの認識が定着し、生活環境周辺に纏まった緑地を求める市民の声が高まっています。都市計画を見直し、時代に即した対応をすることは地球規模での問題解決の一步であり、藤沢市におかれても先進的に取り組まれることが同様な問題を抱える他の自治体のみならず、後世からも高く評価されることになるものと存じます。